

ついに完成！ 創立150周年記念作品（銅板レリーフ）

一人一人が作成した「コトノハ（銅板レリーフ）」が一つの大きな作品となりました。3月14日（木）には、ついに完成した記念作品のお披露目会が行われました。作品が完成するまでのあゆみをスライドで振り返り、代表児童から作品を監修して下さった小島雅生先生にお礼の言葉を伝えました。小島先生からは、作品への思いを子どもたちに伝えていただきました。その後、作品が展示してある来賓玄関へ移動し、全校児童で作品を鑑賞しました。自分のコトノハを探したり、全体を眺めたり、歓声があがりました。ご来校の際は、ぜひご覧ください。

～中略～ 一人一人がつくった銅板を一つの作品にするために、ぼくたち実行委員で全校にアンケートをとった結果、正門に立っている『くすのき』が土台になるといいと話し合いで決めました。イメージは夕方。「今日も一日楽しかったね。明日も楽しく遊ぼうね」というイメージです。どんな作品になっているのか、とても楽しみです。
ぼくたち一人一人の思いを一つにまとめ作品を作ってください、本当にありがとうございました。



小島雅生先生は、造形作家であり、東海学園大学の教授でもあるんだニャン。西條校長先生とは大学時代からのお友達で、この創立150周年記念作品の作成を支えてくださった方なんだニャン。

実行委員のみなさんからいただいた思いを、どう作品に盛り込むかを考えました。一日を振り返る夕方の光に照らされた温かみのある色のオレンジ。もう一つの思いである『未来への希望』を新たに芽吹いていくイメージの色となるグリーン。それを南部小学校のシンボルツリーである『くすのき』を形取って着色していきました。あとは空気と風をイメージしたホワイトを全体に散りばめました。

みなさん一人一人の言葉や思いがあふれた作品に作っていてとても楽しくなりました。150周年という歴史ある瞬間に立ち会えてとても光栄です。わたしの方こそ、ありがとうございました。

記念作品の完成をもちまして、南部小学校創立150周年記念事業のすべての取組が終了いたしました。地域の皆様の支えがあって、今の南部小学校があることをあらためて実感しております。誠にありがとうございました。

これからも、子どもたちの笑顔があふれ、地域に愛される学校をめざしていきます。